

# はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.80  
2017.10



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

## 活魚水槽を活用し活ダコ出荷 鮮度良く好評

歯舞漁協では、今年8月から活ダコの出荷に取り組んでいます。活ダコの出荷は、今年ロシア200海里内サケ・マス流し網漁禁止に伴う対策として新たに導入した活魚水槽を使って出荷しています。活魚水槽は、水温を4度に保つことで、タコが動いたりスミを吐いたりしないので、水が汚れず鮮度を保つことができます。

業者からは「皮が薄くてやわらかく、消費地に着いたときにも鮮度が良い」と評判が良く、漁業者にとっても単価が向上したことなどから満足する声が上がっています。今後も付加価値を高め、ブランド化に向けて検討を進めていく予定です。



## 歯舞中学3年生“はぼまい昆布しょうゆ”釧路空港 PR 活動

8月18日に歯舞小中学校中学3年生15名が水産学習の一環として、本年度で6回目となる釧路空港で地元PR活動を行いました。

生徒らは、空港ロビーにいる観光客らに根室の特産品などが書かれた生徒自作のチラシと、はぼまい昆布しょうゆ贅沢仕上げのセットを配布し、同時に歯舞地域の特産物などの説明を行いました。「歯舞自慢の昆布しょうゆを是非使って下さい!!」と積極的に声を掛ける姿も見られ、用意した200セットはわずか1時間弱で配り終わりました。

今回も地元PR活動を通して、生徒たちは歯舞の魅力を再確認できたとともに、一般消費者の声を聴く貴重な体験になったと思います。



釧路空港でチラシとしょうゆセットを配布



“歯舞”を積極的にPR

## 「ねむろ水産フェスタ」開催

9月10日、日本労働組合総連合会の「2017 平和ノサップ集会」が納沙布岬・望郷の岬公園で開催され、全国各地から組合員が集いました。歯舞漁協では今年は約600名分の昼食を委託され、「ねむろ水産フェスタ」と称して提供しました。

会場は歯舞漁港屋根付き岸壁で、メニューは花咲蟹のてっぽう汁、さんまの炭火焼き、弁当など全8品。さんまは炭火を使い各自で焼いて食べる形式にし、仲間同士で炭火を囲んで歓談する姿が見られ、あいにくの天気でしたが会場は大いに盛り上がっていました。

歯舞の海の幸をふんだんに使ったメニューに、参加者からは「美味しい」との声があり、歯舞ブランドを全国にPRする絶好の機会となりました。



歯舞の味覚を堪能する参加者たち

## 歯舞中3年生 サンマの燻製作り挑戦

歯舞小中学校の中学3年生15人が10月5日、旬のサンマを使った燻製作り挑戦しました。

地元水産業に対する理解と関心を深め、地域の担い手として漁業文化を守り、郷土愛を育むことを目的に同校が取り組む「水産学習」の一環で、歯舞漁協よりサンマ240尾を提供し実施されました。

生徒たちは慣れない手つきでサンマを背開きにするところから始め、最初は苦戦しながらも、次第に上手にさばけるようになっていました。

開いて処理したサンマは、特製ダレに漬け込み、一時間乾燥させた後、くるみのチップで燻煙しました。

生徒らからは「サンマの背開きは難しかったが、家でも挑戦してみたい」という声が聞かれ、興味深い実習となったようです。

昭和45年から続く伝統の授業。先輩から後輩へ、これからも地域の味が引き継がれていくことを願っています。



真剣な表情でサンマを捌く生徒たち

## 編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

